

無料

男女共同参画の推進と多様性をみとめあう社会づくり
令和7年 ウィズ新宿 男女共同参画講座

YouTube 限定配信オンライン講座

8/5 (火) ~ 9/2 (火)

ファッションと ジェンダーの歴史

～西洋服飾における性差とは～

社会的な変化に応じてファッションが多様化した現在、ジェンダーレスな服装を楽しむ人が増えています。異性装は歴史的にいつ頃から存在していたのでしょうか。そもそも服飾における性差はどのように誕生したのでしょうか。西洋服飾とジェンダーの歴史から、現代の性の多様性に至る動きを考察します。



※クリスチャン・ディオール
「ボール・ガウン」、
1954年、フランス

※イヴ・サンローラン「イブニング・スーツ」、
1967年頃、フランス

※ジャン=フィリップ・ウォルト「ボール・ガウン」、
1897年、フランス



新實 五穂 氏

お茶の水女子大学基幹研究院人文科学系・准教授

申込み方法

8月5日(火)より、二次元コード
(新宿区ホームページ)からお申込み
ください。※通信費は申込者負担

対象

区内在住・在勤・在学でYouTube
動画配信を見る機器をお持ちの方

※申込後3日以内に返信がない
場合はお問い合わせください。

講座時間

約90分

こちらから
お申込み
ください



※ガブリエル・シャネル
「イブニング・ドレス」、
1925年、フランス

※アンドレ・クレージュ
「スーツ、ブーツ」、
1960年代後半-1970年、フランス

※バーバラ・フラニック
(BIBA)「スーツ」、
1970年、イギリス

申込
お問合せ

新宿区男女共同参画推進センター
〒160-0007 新宿区荒木町16番地
TEL: 03-3341-0801
FAX: 03-3341-0740

※ すべて島根県立石見美術館所蔵

講師紹介

にいみ いほ
新實 五穂 氏

お茶の水女子大学基幹研究院人文科学系・准教授

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了、博士（人文科学）。現在、お茶の水女子大学基幹研究院人文科学系・准教授。専門は西洋服飾論。19世紀フランスを中心に、服装における性差や服装規定にみるジェンダー規範を分析するとともに、歴史衣装の現物調査からデザインの考察をするなど、服飾におけるジェンダー研究に取り組む。

主な著書に『社会表象としての服飾－近代フランスにおける異性装の研究』（東信堂、2010年）、共著に『フランス・モード史への招待』（悠書館、2016年）、編著に『歴史のなかの異性装』（勉誠出版、2017年）など。

この他の講座はこちらから →



★この講座は新宿区と新宿区立男女共同参推進センター運営委員会との協働事業です★

運営委員会構成団体

ぐるーぷ・カナリヤ、新宿区家庭教育グループ連絡会、新宿区婦人団体協議会、新宿区平和派遣の会、一般社団法人新宿ユネスコ協会

★個人情報の取り扱いについて★

お申込みの際に伺いする個人情報は

- ① 講座開催の予約確認
- ② 突発的事情による中止などの連絡
- ③ 講座実施方法の連絡
- ④ 受講者の年代に合わせた講義の準備にのみ使用し、それ以外の目的では使用しません